

地場産業と連携した 「経営・教育」に関する学習スキームの確立

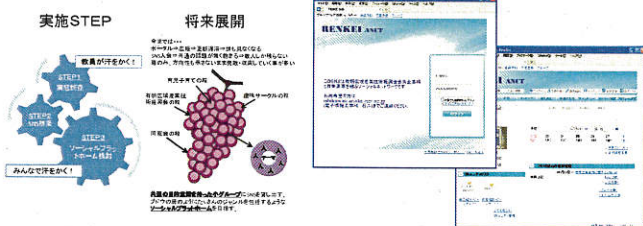
石川洋平(有明工業高等専門学校 電子情報工学科)
菅沼明(有明工業高等専門学校 電子情報工学科)
森山英明(有明工業高等専門学校 電子情報工学科)
清水暁生(有明工業高等専門学校 電気工学科)
永利新一(永利公認会計士事務所・株式会社有明ねっとこむ)

1. 昨年度(2011)の取り組み

SNS活用の前に「リアルな連携を！」

2011年度は有明高専と地場企業との連携を深めるために「有明広域技術振興会専用SNS」を構築した(地場産業振興支援研究費「地場産業・高専の連携強化を目指したソーシャルプラットフォームの構築」として採択)。

問題点として、本プラットフォームを活用する準備「地場企業と教員とのリアルな連携」が必要であるということが分かった。



2. プロジェクト発案経緯

地場企業経営者と教員の連携を促進！

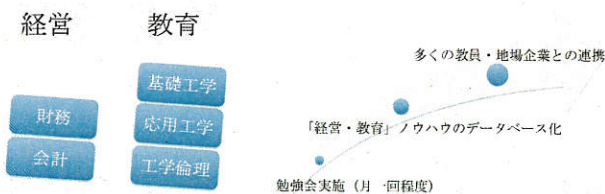
1. 起業に関する教育で受賞等の成果が出てきた。(2009年度から3年連続受賞)
2. コンテストは疑似体験であって次のステップが無い。
3. 地場企業の経営者の生の声を学生に届けたい。
4. 指導する立場の教員自身が3. を学ぶ必要がある。
5. 勉強会の実施を検討。データベース化を図り多くの教員と共有できないか考える。



3. 実施計画

経営ノウハウと教育ノウハウの共有！

経営と教育をテーマとして勉強会を実施、ノウハウ蓄積を経て多くの教員・地場企業との密な連携を図る。



4. 教経会

真の連携に向けての初めの一步！

教育・経営(経済)勉強会(略称:教経会(きょうけいかい))を発足。経営・経済的知識を永利氏にご教授頂き、工学教育および倫理感をバランスよく再考する。本会を通じて、学生への「起業教育」の担い手(高専教員)を育成するとともに、地場産業に対する知識・連携を深める。

(現在までの活動実績)
キックオフミーティング 2012/11/5
第1回教経会 2012/12/4 論語と算盤(第1章)
第2回教経会 2012/1/22 論語と算盤(第2章)
第3回教経会 2012/2/19 論語と算盤(第3章)
第4回教経会 2012/3/25 論語と算盤(第4章)

(輪読書)
渋沢栄一「論語と算盤」
福沢諭吉「学問のすすめ」

(参加費)
懇親会費 2000円/1回

(参加者)
企業:永利新一
有明高専:菅沼明、石川洋平、森山英明、清水暁生、相賀宏
※敬称略

5. おわりに

地場企業・高専連携による「地域の担い手」作り！

本研究を通じて、地場企業との真の連携に向けての第一歩を踏み出すことができた。今後は、コツコツと連携を深め長期的・多面的・根本的に「起業教育」をサポートできる担い手(高専教員)と地域を活性化させることのできる未来の担い手(学生)の育成に向けて継続的に取り組みたいと考えています。

<教経会の目標>

1. 教育、経営、経済に関する異分野交流
2. 地場企業と高専との新しい協力体制の探索
3. 若者の活躍の場(起業等)に関する検討

6. 参加案内

教経会へ参加希望の方は連絡をお願いします

ishikawa@ariake-nct.ac.jp

有明工業高等専門学校
電子情報工学科 石川